



# 保育・教育の質の向上を求めて

## 幼児教育アドバイザー訪問事業 活用の手引き



やまなし幼児教育センター

令和5年4月

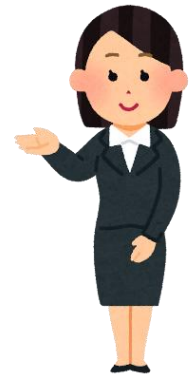
# 目 次

1 「幼児教育アドバイザー訪問事業」とは	・・・	1
2 訪問までの流れ	・・・	2
3 訪問の実際	・・・	3
4 訪問依頼書・記入例（様式1）	・・・	5
5 訪問実施報告書・記入例（様式2）	・・・	7
6 「幼児教育アドバイザー訪問事業」実施要項	・・・	9

# 1

## 「幼児教育アドバイザー訪問事業」とは

山梨県教育委員会が委嘱した幼児教育アドバイザーが、園・所（認可外を含む）からの依頼に応じて訪問し、園内研修などを行って課題を一緒に考え、より良い保育・教育を目指す先生方の学びを支援する事業です。



### 幼児教育アドバイザーって どんな人？

幼児教育アドバイザーは、乳幼児期の保育及び教育、福祉に関する専門的な知見や豊富な経験をもつ山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学、山梨学院短期大学など、県内大学の教授をはじめとする先生方です。

また、依頼内容によっては、その他の関係機関の職員が、幼児教育アドバイザーとして訪問することもあります。

### 幼児教育アドバイザーの 役割は？

#### 【役割①】 園内研修のサポート、市町村などの研修会・研究会での指導・助言

園・所等の課題や研修・研究テーマについて、一緒に考えたりアドバイスしたりします。

#### 【役割②】 テーマに基づいた保育参観とアドバイス

実際の保育の様子を参観し、テーマに沿ってアドバイスします。



### 例えば、 どんな研修テーマがある？

- ・乳幼児の姿の見取り方
- ・保護者への対応の仕方
- ・保育記録の取り方、活用法
- ・一人一人に応じた援助
- ・気になる子どもへのかかわり方
- ・室内遊びの環境構成、遊具の使い方
- ・小学校との連携
- ・楽しい保育実技（身体表現など）
- ・指導計画の構想 等々

### 費用や準備は必要？

・費用は県教委が負担するので、依頼した園・所の負担はなく、**無料**です。

また、一律に必要な準備等はありませんが、研修会などの訪問内容によっては資料や機器の準備をお願いすることがあります。

# 2

## 幼児教育アドバイザー訪問までの流れ

### 1 相談・研修内容を決める

○日々の保育・教育の中で困っていることや解決したい課題を相談・研修内容として、以下の中から1～2程度に絞ってください。

<相談・研修項目>

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| ① 子ども理解・子どもの姿の見取り方 | ② 教育・保育の内容        |
| ③ 保育者のかかわり方        | ④ 環境構成            |
| ⑤ 保育記録の取り方・活用の仕方   | ⑥ 指導計画等の構想        |
| ⑦ 小学校との連携・接続       | ⑧ 配慮を必要とする子どもへの支援 |
| ⑨ その他（研究会支援など）     |                   |



### 2 訪問日時、場所・会場を決める

○訪問日時：午前9時から午後4時の間のできるだけ多くの保育者が参加できる日程を計画してください。  
・同一園・所で、1年に3回まで訪問を希望することができます。その場合は、効果的な訪問時期になるよう1か月～数か月の間隔をあけて計画してください。

○所要時間：1回2時間～6時間で計画してください。（昼食休憩は1時間）

- ・半日研修（2～3時間）：《例》保育観察+助言、講義、助言、相談 等
- ・一日研修（4～6時間）：《例》保育観察+協議・グループ別協議 等

○会 場：参加者が集まって話ができる研修会場を園・所内に設定してください。

### 3 訪問依頼書(P5)を提出する

やまなし幼児教育センターHP からダウンロードもできます。

○訪問依頼書を訪問希望日の3週間前を目安にメールかFAXで、ご提出ください。

### 4 訪問内容について打ち合わせる

園・所の状況や参加する職員の人数やキャリア、グループ演習等研修会の進行方法についてもお知らせください。

○園・所の希望に沿ったアドバイザーを派遣できるよう、訪問依頼書に基づいて具体的な相談・研修内容や当日の流れについて、幼児教育センターの担当者と打ち合わせを行います。

○後日、訪問する幼児教育アドバイザーと日程が決まり次第、幼児教育センターから正式文書をメールで送ります。ご確認ください。

### 5 幼児教育アドバイザー訪問実施

○幼児教育アドバイザーが訪問し、保育観察や話し合いを通して共に考えたりアドバイスしたりします。

### 6 実施報告書(P8)を提出する

やまなし幼児教育センターHP からダウンロードもできます。

○実施報告書をメールかFAXで、訪問終了後1週間以内にご提出ください。

○年度末にメールで配信されるアンケートへ回答してください。

# 3

## 幼児教育アドバイザー訪問の実際

### 訪問事例Ⅰ

【私立幼稚園への訪問】

保育参観



研究協議

#### 【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 配慮が必要な年少児2名を対象に、個に応じた支援について考える。

<内容> 自由遊びや縦割りの活動等を参観。  
その後、対象児の様子から留意することや保育現場での工夫について協議・アドバイスした。

#### 【当日の流れ】

<3時間>

13:00 日程及び内容の確認  
13:15 保育参観  
14:30 振り返り・研究協議  
16:00 終了

配慮が必要な幼児へのかかわり方

#### 【協議・助言の概要】

<意見交換> 保育参観で気づいた対象児2名の良さや課題、今後の指導について  
<助言> ・幼児が自分の気持ちを表現できるようにするための表出言語獲得の方法について  
・少人数での活動を取り入れることについて

#### 【活用後の園・所の感想】

子どもの行動をどう理解し、援助したらよいかについて具体的にアドバイスをいただき、大変参考になりました。  
また、専門機関への連携についても相談ができ、とても有意義な時間になりました。

### 訪問事例Ⅱ

【小規模保育所への訪問】

保育参観



研究協議

#### 【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 園児の年齢(発達)に応じた保育者のかかわり方、特に言葉かけなど保育の基本的事項について確認する。

<内容> 遊びや読み聞かせ、散歩等の活動を参観。  
その後、留意点や改善点等について協議・助言した。

#### 【当日の流れ】

<3時間>

9:00 日程及び内容の確認  
9:15 保育参観(室内遊び)  
10:20 保育参観(散歩)  
11:00 振り返り・研究協議  
12:00 終了

3歳未満児へのかかわり方

#### 【協議・助言の概要】

<意見交換> 保育参観から見えた未満児へのかかわり方の改善点について  
<助言> ・遊具の配置や一つの遊びの継続時間など意欲的に遊ぶための環境整備について  
・園内研修の進め方や工夫について  
\*研修に活用できるDVDを貸し出した。

#### 【活用後の園・所の感想】

未満児の保育において、大切なことを丁寧にご指導いただき、大変勉強になりました。特に、「言葉のシャワーを浴びて、それを子どものバケツにためることが発話につながる」とのお話は印象的でした。  
子どもの気持ちに寄り添った活動を考えていきたいです。



## 訪問事例Ⅲ

【保育実技の研修支援】

模範指導



講義



研究協議

### 【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 年齢に応じた身体表現とその指導法について実技と理論の両面から研修する。

<内容> アドバイザーが直接表現活動を指導し、その観察から表現遊びの指導法を学んだ。その後、身体表現活動の指導法等について講義・協議や助言をした。

### 【当日の流れ】

<5時間>

10:30 日程及び内容の確認  
 10:40 身体表現指導(年少・年中)  
 12:00 昼食・休憩  
 13:00 身体表現指導(年長)  
 14:00 講義・助言・研究協議  
 15:30 終了

## 園内研修への支援

### 【講義・助言の概要】

<講義> 子供たちがイメージをもって自由に表現する運動遊びの技法について

<助言> ・保育者が環境の一部として、受容と共感の意識で子供たちの自由な表現を受け止めることの重要性について

・10月に実施予定の運動会での表現活動について

### 【活用後の園・所の感想】

表現活動の指導を通して、一人一人の子供の目が輝き、楽しそうに表現遊びをする姿を見ることができました。また、様々な体育用具の種類や活用方法を知り、実際の子供への指導方法を学ぶことができました。保育者のかかわり方や言葉かけによって表現の幅が広がる技法に触れることができ、深い学びになりました。

## 訪問事例Ⅳ

【保育者の研究支援】

講義



研究協議

### 【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 数年後の関東大会での研究発表に向けて実践研究の方法や内容等について研修する。

<内容> 保育の実践研究の留意点と具体的な手法について講義した。その後、研究テーマについて意見交換を行い、研究の方向性を協議した。

### 【当日の流れ】

<2時間>

14:00 講義  
 14:40 意見交換・研究協議  
 16:00 終了

## 研究会への支援

### 【協議・助言の概要】

<講義> 「実践を研究する」と題し、研究とは何か、調査と研究の違い、研究実例について

<助言> ・「日常の実践の向上に結び付く研究」にするために留意することについて

・地域の課題を洗い出し、研究テーマにつなげる研究内容・研究方法について

### 【活用後の園・所の感想】

研究テーマに沿って課題を探る方法など、順に説明していただき勉強になりました。

特にワークショップでは、意見を付箋に書くことで自分自身で考察できたり他園を含めた地域の状況を共有できたりするなど、研究の方向性が見えてきて、今後につながる学びになりました。

やまなし幼児教育センター 宛  
 ( 電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145 )  
 E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp

※やまなし幼児教育センター記入欄		
受付番号	決定連絡日	
	決定連絡者	

## 幼児教育アドバイザー訪問依頼書

### 1 申請者

園・所 設置区分 (○をしてください。)	国公立	施設区分 (○をしてください。)	<input type="checkbox"/>	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む。)	
	私立		<input type="checkbox"/>	保育所 (保育所型認定こども園を含む。)	
			<input type="checkbox"/>	幼保連携型認定こども園	
			<input type="checkbox"/>	地域型保育事業所	
			<input type="checkbox"/>	認可外保育施設	
			<input type="checkbox"/>	特別支援学校幼稚部	
ふりがな				ふりがな	
園・所名				代表者名	
住所	〒				電話番号
					Fax番号
					E-mail
園児実員	0歳児 ( ) 人	1歳児 ( ) 人	2歳児 ( ) 人	依頼回数	今回の依頼 ( ) 回目
	3歳児 ( ) 人	4歳児 ( ) 人	5歳児 ( ) 人		

### 2 訪問希望内容

#### (1) 相談内容等

相談項目	空欄に○を付け、必要事項をご記入ください。	
	<input type="checkbox"/>	①子ども理解・子どもの姿の見取り方
	<input type="checkbox"/>	②教育・保育の内容
	<input type="checkbox"/>	③保育者の関わり方
	<input type="checkbox"/>	④環境構成
	<input type="checkbox"/>	⑤保育記録の取り方・活用の仕方
	<input type="checkbox"/>	⑥指導計画等の構想
	<input type="checkbox"/>	⑦小学校との連携・接続
	<input type="checkbox"/>	⑧配慮を必要とする子どもへの支援
	その他 ( )	
★上記の○の項目について、自園・所の実態を踏まえて内容を詳しくご記入ください。		★希望する当日の流れをご記入ください。
	時間	内容 (打合せ・保育参観・振り返り等)

#### (2) 訪問希望日時

第1希望	月 日 ( )	第2希望	月 日 ( )	第3希望	月 日 ( )
	時 分 ~ 時 分		時 分 ~ 時 分		時 分 ~ 時 分

注 祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整します。  
 当日の打合せや振り返り、個別の相談等を希望する場合は、その時間を含めて記入してください。  
 (この時間帯で収まらない場合は、相談してください。)

※ 幼児教育アドバイザー訪問終了後、実施報告書(様式2)を1週間以内にご提出ください。

やまなし幼児教育センター 宛  
 電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145  
 E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp

※やまなし幼児教育センター記入欄

受付番号	決定連絡日
	決定連絡者

幼児教育アドバイザー訪問依頼書

センターで記入します。

1 申請者

園・所 設置区分 (○をしてください。)	国公立	施設区分 (○をしてください。)	<input type="radio"/>	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む。)	
			<input checked="" type="radio"/>	保育所 (保育所型認定こども園を含む。)	
			<input type="radio"/>	幼保連携型認定こども園	
	<input checked="" type="radio"/>		私立	<input type="radio"/>	地域型保育事業所
			<input type="radio"/>	認可外保育施設	
			<input type="radio"/>	特別支援学校幼稚部	
ふりがな	にんていこどもえん△△ほいくえん		ふりがな	□ □ □ □	
園・所名	認定こども園△△保育園		代表者名	□ □ □ □	
住所	〒XXX-XXXX		電話番号	0555 - XXXX - XXXX	
	△△市○○町□□XX-ZZ		Fax番号	0555 - XXXX - ZZZZ	
			E-mail	abc@defg.co.jp	
園児実員	0歳児 ( 3 ) 人	1歳児 ( 5 ) 人	2歳児 ( 7 ) 人	依頼回数	今回の依頼 ( 1 ) 回目
	3歳児 (15) 人	4歳児 (15) 人	5歳児 (15) 人		

2 訪問希望内容

(1) 相談内容等

相談項目	空欄に○を付け、必要事項をご記入ください。											
	<input checked="" type="radio"/>	①子ども理解・子どもの姿の見取り方										
	<input type="radio"/>	②教育・保育の内容										
	<input checked="" type="radio"/>	③保育者の関わり方										
	<input type="radio"/>	④環境構成										
	<input type="radio"/>	⑤保育記録の取り方・活用の仕方										
	<input type="radio"/>	⑥指導計画等の構想										
	<input type="radio"/>	⑦小学校との連携・接続										
	<input checked="" type="radio"/>	⑧配慮を必要とする子どもへの支援										
	その他 ( )											
★上記の○の項目について、自園・所の実態を踏まえて内容を詳しくご記入ください。		★希望する当日の流れをご記入ください。										
配慮を必要とする幼児が2名おり、その子への日々のかかわり方や支援方法、その子の良さを生かした周囲の子へのかかわり方について一緒に考えたい。		<table border="1"> <tr> <th>時間</th> <th>内容 (打合せ・保育参観・ ) 等)</th> </tr> <tr> <td>10:00~10:15</td> <td>日程及び内容の確認・打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>10:15~12:00</td> <td>保育参観</td> </tr> <tr> <td>12:00~13:00</td> <td>昼食・休憩</td> </tr> <tr> <td>13:00~15:00</td> <td>振り返り・研究協議</td> </tr> </table>	時間	内容 (打合せ・保育参観・ ) 等)	10:00~10:15	日程及び内容の確認・打ち合わせ	10:15~12:00	保育参観	12:00~13:00	昼食・休憩	13:00~15:00	振り返り・研究協議
時間	内容 (打合せ・保育参観・ ) 等)											
10:00~10:15	日程及び内容の確認・打ち合わせ											
10:15~12:00	保育参観											
12:00~13:00	昼食・休憩											
13:00~15:00	振り返り・研究協議											
できるだけ具体的に書いてください。		どのように計画したらよいか迷ったときは、幼児教育センターへご相談ください。										

(2) 訪問希望日時

第1希望	△ 月 △ 日 ( ○ ) ○時 ○分 ~ □時 ○分	第2希望	□ 月 □ 日 ( △ ) ○時 ○分 ~ △時 ○分	第3希望	△ 月 ○ 日 ( □ ) ○時 ○分 ~ ○時 ○分
------	--------------------------------	------	--------------------------------	------	--------------------------------

注 祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整します。当日の打合せや振り返り、個別の相談等を希望する場合は、その時間を含めて記入してください。(この時間帯で収まらない場合は、相談してください。)

できるだけ多くの人に参加できる日程をご記入ください。

※ 幼児教育アドバイザー訪問終了後、実施報告書(様式2)を1週間以内にご提出ください。



やまなし幼児教育センター 宛  
 ( 電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145 )  
 ( E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp )

### 幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

幼児教育アドバイザー訪問につきまして、終了したことを報告します。

園・所 設置区分 (〇をしてください。)	国公立	施設区分 (〇をしてください。)	<input type="checkbox"/>	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む。)	
			<input type="checkbox"/>	保育所 (保育所型認定こども園を含む。)	
			<input type="checkbox"/>	幼保連携型認定こども園	
	私立		<input type="checkbox"/>	地域型保育事業所	
			<input type="checkbox"/>	認可外保育施設	
			<input type="checkbox"/>	特別支援学校幼稚部	
ふりがな			ふりがな		
園・所名			代表者名		
住所	〒			電話番号	
				Fax番号	
				E-mail	
参加者	園・所長等 (管理所)	( )	人	計	人
	教員・保育士等	( )	人		
	その他の職員	( )	人		

#### 訪問内容

##### (1) 相談内容等

日時	令和 年 月 日 ( )	時 分 ~ 時 分
講師		
相談項目	<input type="checkbox"/>	①子ども理解・子どもの姿の見取り方
	<input type="checkbox"/>	②教育・保育の内容
	<input type="checkbox"/>	③保育者の関わり方
	<input type="checkbox"/>	④環境構成
	<input type="checkbox"/>	⑤保育記録の取り方・活用の仕方
	<input type="checkbox"/>	⑥指導計画等の構想
	<input type="checkbox"/>	⑦小学校との連携・接続
	<input type="checkbox"/>	⑧配慮を必要とする子どもへの支援
	<input type="checkbox"/>	その他 ( )
★指導・助言等の内容を簡単にお書きください。		

##### (2) 感想等

感想	
その他	<今後の希望等がありましたらお書きください。>

やまなし幼児教育センター 宛
電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145
E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

幼児教育アドバイザー訪問につきまして、終了したことを報告します。

園・所設置区分 (公立/私立), 施設区分 (幼稚園/保育所/幼保連携型認定こども園/地域型保育事業所/認可外保育施設/特別支援学校幼稚部), 園・所名 (認定こども園△△保育園), 住所 (〒XXX-XXXX △△市○○町□□XX-ZZ), 参加者 (園・所長等 1人, 教員・保育士等 5人, その他の職員 1人) 計 7人

訪問内容

(1) 相談内容等

日時 令和 △ 年 △ 月 △ 日 (○) ○時 ○分 ~ □時 ○分
講師 ○○大学教授 △△先生
相談項目 ①子ども理解・子どもの姿の見取り方, ②教育・保育の内容, ③保育者の関わり方, ④環境構成, ⑤保育記録の取り方・活用の仕方, ⑥指導計画等の構想, ⑦小学校との連携・接続, ⑧配慮を必要とする子どもへの支援
★指導・助言等の内容を簡単にお書きください。
次のような助言をいただいた。
・フルーツバスケットで鬼になりたい子がたくさんいる時は、鬼を経験した回数分シールを貼るなどして視覚的に分かりやすくするとよい。
・いくつかの指示が重なるときは、全体に声をかけてから個別に言葉をかけるなどスモールステップでの指示に配慮するとよい。
・保護者に子どもの様子を伝える時は、園生活のどの場面で困っていたかなど子どもの視点で伝えると理解してもらいやすい。

訪問のテーマや中心的な話題についての指導・助言の内容を簡単にご記入ください。

(2) 感想等

感想 気になる子ども一人一人をよく見ていただき、これからどのように向き合っていけばよいか、日常の保育でどんな配慮をしていけばよいか、とても勉強になりました。今回のお話を今後の保育に生かしていきます。
その他 <今後の希望等がありましたらお書きください。>
・また保育参観をしていただき、保育者のかかわり方など指導、助言をいただきたい。

今回の訪問で、直接指導・助言を受けた方の感想を簡単にご記入ください。

今後の訪問依頼予定や、本事業に対する要望等がございましたらご記入ください。

# 令和5年度幼児教育アドバイザー訪問事業 実施要項

## 1 目的

幼児期の教育・保育の質の向上を図るため、幼稚園・保育所・認定こども園等（以下、「園・所等」という。）からの要請に応じて幼児教育アドバイザーが訪問し、助言・支援する。

## 2 幼児教育アドバイザー

幼児教育アドバイザーは、専門的な知見や豊富な実践経験を有する者で、山梨県教育委員会が幼児教育アドバイザーとして依頼した者とする。

## 3 訪問対象 県内の園・所等

## 4 訪問内容

幼児教育アドバイザーが、園・所等を訪問し、園・所生活の参観を通して、幼児理解や幼児の姿の見取り方、教育・保育の内容、保育者の関わり方、環境構成などについて、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等に基づき、助言・支援する。

## 5 実施期間 令和5年4月～令和6年3月

## 6 訪問時間

祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整する。一年間に3回まで訪問を依頼することができる。

## 7 訪問者 幼児教育アドバイザー

※やまなし幼児教育センター指導主事等が同行する場合もある。

## 8 実施方法

- (1) 幼児教育アドバイザーの訪問を希望する園・所等は、訪問依頼書（様式1）を作成の上、訪問希望日の3週間前を目安に、やまなし幼児教育センターに提出する。
- (2) やまなし幼児教育センターは、内容や日程等を確認し、訪問する幼児教育アドバイザーを決定する。
- (3) やまなし幼児教育センターは、訪問する幼児教育アドバイザーや日時等の決定事項を園・所等及び幼児教育アドバイザーに連絡する。
- (4) 園・所等は、やまなし幼児教育センターを通して、当日の内容等詳細を幼児教育アドバイザーと情報共有する。
- (5) 園・所等は、訪問事業終了後、1週間以内に実施報告書（様式2）をやまなし幼児教育センターに提出する。
- (6) 園・所等は、年度末に実施するアンケートに回答する。
- (7) 各アドバイザーがその役割や本事業への認識を共有するため、「幼児教育アドバイザー連絡会議」を年2回開催する。

## 9 経費

訪問に係る旅費・謝金は、山梨県教育委員会が負担する。

また、連絡会議への出席に係る旅費は、山梨県教育委員会が負担する。

## 10 その他

- (1) 後日、訪問について聴取等を行うことがある。
- (2) 本訪問及び聴取等を通して知り得た内容は、原則として公表しない。  
ただし、幼児教育・保育の質の向上に役立つ情報は、個人が特定できる内容を除き、該当園・所等の承諾を得た上で、公表する場合がある。



## やまなし幼児教育センター

〒400-8510

甲府市武田4-4-37(山梨大学J号館内)

TEL:055-220-8143

FAX:055-220-8145

